

## 令和3年度 第1回 八代市立図書館協議会 会議録

- ・日時 令和3年10月21日（木）午前10時
- ・場所 八代市立図書館 大会議室
- ・出席委員 久保委員、宮嶋委員、森下委員、徳田委員、丸吉委員、大坪委員、野瀬委員、前山委員
- ・欠席委員 桑原委員、今田委員
- ・事務局 中教育部長、田中課長、村上課長補佐、市村参事、野間口館長、吉野副統括責任者、岩榮分館長、園田分館長
- ・公開状況 公開
- ・傍聴者 0名

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

### 3 教育委員会挨拶

### 4 新委員並びに新館長紹介

### 5 議事

#### (1) 図書館運営について（報告）

（事務局）議事1「図書館運営方針に伴う令和3年度の取組について」資料をもとに説明。

- ・新型コロナの影響を受けつつも図書館に出来るサービスをおこなってきた。
- ・子どもたちを対象に方言カルタを作成し、方言について学ぶ講座を夏休みから始めた。9月はイベントが中止になってしまったため、10月23日に完成予定である。調べる学習セットを作り、自宅でも取り組める工夫をした。作品は「全国調べる学習コンクール」に出展予定。
- ・「八代市立図書館デジタルライブラリ」を開設。現在は八代の植物が閲覧可能。今後は八代市の文化や郷土の公開を考えている。
- ・読書支援サービスを4月より開始した。これは、点字図書や録音図書の貸出対象を拡大し、郵送も可能（※郵送は障がい者のみ）とするサービスである。
- ・9月に移動図書館車のコースを見直した。新コースは10月より開始。のちのアンケートでも指摘があるが、周知を徹底し、本を借りるだけでなく、広報としての役割も高めていきたい。
- ・図書館講座「ロボットこくりを動かしてみよう！」を開催。実際にロボットにふれ、プログラミングを体験することで文化創造を育むきっかけとなった。

#### (会長)

方言カルタについて。面白そう。地元がないことを寂しく思っていたのでとてもうれしく思う。ぜひ見てみたい。

#### (事務局)

ありがとうございます。10月23日完成予定です。完成後は展示を行い、皆様にお見せしたいと思います。

#### (A委員)

移動図書館の利用は増えているか。

(事務局)

利用者自体はなかなか増えていない。10月に新コースでの運行が始まった。運行場所を減らした分、一か所にとどまる時間を増やした。また、ゆめタウンなど人の多い場所をステーションとすることで周知と宣伝に力を入れていきたい。

(A 委員)

(コースの) 変更後どうか？

(事務局)

まだ始めたばかりなので定着に至っていないが、今後に期待したい。

(会長)

今後が楽しみ。

(A 委員)

移動図書館については、費用対効果が伴っているか気になっている。他の図書館での取り組みなども参考に今後も続けていってほしい。

(事務局)

移動図書館についてはアイデアを募集している。

(B 委員)

電子図書について。外国語資料も収集していくとのことだが、小中学校で使用するタブレットでも電子図書は閲覧可能か。

(事務局)

インターネットに接続しているタブレットならば可能。ただし、ログインに図書館の利用者カード登録が必要になる。今後は、学校図書館のカードでも利用できるよう改善していく予定。

(B 委員)

電子図書のメイン対象は小中学生になると思う。最近では小学一年生でもプログラミングができる。小学生でもアクセスしやすく(簡単にログインできるように)してもらえると、子どもが自らタブレットを使って勝手にみるようになると思う。

(会長)

電子図書の利用が増えると図書館の来館者は減るのだろうか？

(C 委員)

時代を考えれば、電子図書も勿論大事だが、絵本だけは紙媒体で。それだけは忘れないでほしい。

(会長)

やはり、手に取って本を選べる場所というのは大事だと思う。

(D 委員)

図書館の活動について。どのようにPRされているか。

(事務局)

ホームページ・広報やつしろ・SNS・ラジオなどを使っている。ただ、インターネットを介した情報発信は図書館にもともと興味を持っている方にしか届かない。今後は移動図書館でもチラシを配付したい。

(会長)

ラジオにもどんどん出演してもらいたい。

(A 委員)

小説を漫画化した本は増えているのだろうか

(事務局)

人気のある小説は、メディア化される傾向が高い。漫画化となるとライトノベルなどが多い。

(A 委員)

かがみの漫画をよく利用する。あれはとてもいい。

(事務局)

10月25日からかがみ図書館では「マンガウィーク」も始まる。熊本県が寄贈してくれた『ワンピース』100巻のお披露目と新刊400冊も入る予定なのでぜひ利用してほしい。

(会長)

近代の文学など子どもたちにとってはハードルが高い。日本の漫画のレベルはとても高いので、古典なども漫画でみるととてもいい。

(E 委員)

小学校高学年の読書離れについて。図書館ではどのような取り組みをしているか。

(事務局)

小学校高学年から中・高校生（YA世代）は、読書から離れていく傾向にある。ただ、学習室の利用を目的とした来館はあるので、学習室に就職関連の本や実習生など世代の近いスタッフおすすめの本を置くなどして、本への興味・関心を引けないかと考えている。また、来館を待つだけでなく、こちらから学校に出向いて図書館の便利な使い方やどんな場所であるか案内をしていければと思う。

(A 委員)

令和2年度の読書の順位について。熊本県は47都道府県中39位（新聞記事）とのこと。やはり、興味を持つ本を（図書館に）増やしていくことが読書に興味を持つことに繋がるかと思うのでよろしくお願いいたします。

(会長)

図書館に従事する人が根っからの本を好きであるということも大前提になると思う。

話は横道にそれるが、ここ数年九州芸術文学賞の審査員をしている。その際、図書館がテーマで司書になりたくて仕方ない女性が主人公の作品があった。若い方の作品で、図書館を心底好きな人がいると知れて非常にうれしく思う。今回これを図書館に伝えたいと思っていた。

(事務局)

図書館に好意的な興味をもってくれる人がいるということは、スタッフたちもすごく嬉しいと思うので伝えたい。

(D 委員)

出張講座というものがあることを初めて知った。この講座（『先輩に学ぶ 八代で働いている人たち～体験や活動を通して、自分の将来について考えよう』）は、こういった経緯で行われたのか知りたい。

(事務局)

前館長に直接学校から依頼があり、小学6年生に向けて行われた。その他、学校司書を対象にPOPづくり講座も学校へ赴き行ったことがあるが、その際はオンラインでも配信し、現場に来られない方へも対応した。

(D 委員)

(生徒たちは) 限られた職種しか知らないの、高校生にもよいと思った。

(事務局)

ちょうど来週、ZOOM を用いたオンライン会でのインタビューが今度ある。これは高校生がさまざまな職種に同時にインタビューするもので、はじめての試みである。

(会長)

それはとてもいいですね。教員の指導ではなく、高校生が自主的にされるのですか？

(事務局)

高校生が自主的に聞きたいことを調べてするとのこと。

(会長)

ああ、それは素晴らしいですね。

(会長)

文化創造機会の提供に「ロボット こくり」とあるが、ぜひ見てみたい。

(事務局)

写真をたくさんとってありますので、ぜひ。

(会長)

文化創造機会の提供にある「八代の歴史や文化に関する郷土資料の収集」といっても全部を収集するのは難しいと思う。なので、頑張らなくていい。自分も調べものをするときは市立図書館ではなく県立図書館に行く。県立図書館はそれが役割でもあるので、資料がないといけない。しかし、市立図書館はそうではないので、子どもたちが対象であったり、普通の人たちがなじめる図書館であってほしいと思う。

## (2) 図書館利用者アンケートについて

(事務局) 資料をもとに説明。

本館について。サンプル数は、472 人。

- ・本館の利用者は就業している人が半数。
- ・月に 2～3 回の利用が最も多く、本を借りることが主な目的となっている。
- ・滞在時間が 1 時間未満であるのはコロナ禍の影響と思われる。
- ・電子図書館については未利用が 8 割なので、PR が課題。
- ・資料の収集については、漫画、新書、資格関連本について要望が寄せられている。
- ・その他、駐車場と自習席については、特に使いづらさや席を増やして欲しいなどの声が多かった。
- ・総合的な満足度が昨年度より 20 ポイント減少しているが、これはやはりコロナ禍における感染防止対策で利用制限を行ったこと（席の間引きなど）や回答欄に「普通」の項目を入れたことが影響していると思われる。

せんちょう分館・かがみ分館について

- ・サンプル数は 198 人。
- ・本館とは逆に、就業していない人の利用が多い傾向があり、週に 2～3 回利用するとの回答が

多いことから、リピーターが多いと思われる。

- ・図書資料の充実・学習席についての要望は分館でもみられ、共通の課題である。

本館と分館のアンケート結果から

- ・それぞれの館の特色・強みを生かし、差別化を図った図書館運営をしていく方がいいのではないか。

(C 委員)

学習席を増やして欲しいとの要望があるようだが、図書館はどのように考えていらっしゃるのか。図書館をどのような場所としてとらえているか。勉強の場所として席を増やしていくのか、それともいやいや図書館本来の使い方としてはそういう場ではないとやんわり伝えていくのか、その方針が知りたい。

(事務局)

学生が朝からずっと並んでいる光景も目にする。新型コロナウイルス感染防止のため現在席を間引いており、学習を目的とする利用者に対し席が足りていないと感じている。心苦しくはあるが、席が足りないことで学習目的の方が閲覧席を使用し、閲覧目的の方が「席がない」という場面がでてきている。図書館としては、あくまで実際に図書館の資料を使う方々の席を大事にしたい。ただ、学習目的の方々にも場所を提供するだけでなく、なんとか本に目を向ける工夫をしていくことで、図書館が使われていくきっかけになるのではないかと考えている。

(会長)

そうですね。難しいですね。

(A 委員)

図書館の滞在時間について。図書館としては、短い滞在時間で貸出が増える方がいいのか。あるいは、長い滞在時間でじっくり本を読んで欲しいのか。

(事務局)

たくさん本をじっくり読んで欲しい。補足となるが、図書館においては入館者数こそ減少しているものの利用者数（貸出者数）と貸出冊数は増加している。コロナ禍の影響で滞在時間が短縮したが、自宅でゆっくり本を読もうという人が増えたのではなかろうか。

(A 委員)

図書館が少しでも長く図書館にいてほしいと思っているようで安心した。そこで提案したいが、こたつ敷の読書スペースの導入はいかがだろうか。

(事務局)

八代市立図書館はいぐさのいい匂いのする図書館なので、(こたつを導入すれば) くつろいで(本を)見てくれるだろうな、と絵が見える。なので、機会があればぜひ入れて反応を見てみたいと思う。

(B 委員)

学習スペースについて。子どもたちの住環境に視点を移すと、賃貸も多く自宅に学習机がないためリビングのテーブルで勉強しなくてはならない子もいる。八代市は小中学校ともにそんなに学力が高いわけではないが、学習意欲のある子についてはなるべくなら(図書館で)

勉強させてほしい。

(事務局)

夏休みなど、(本館では)二階のスペースを開放するなどして学習席を増やす対応をした。自宅に学習するスペースがない子がいる現状を今日知ったので前向きに検討したい。

(B 委員)

経済的な余裕のある家庭の子なら、進学塾の自習スペースを使えるが、そうではない子どもたちからすると入れる学習できる場所というのは図書館くらいしかないなので、ぜひお願い致します。今日は教育委員会の方もいらっしゃるのでぜひお願いします。

(F 委員)

学習であれば、コミュニティーセンターも利用できる場所がある。学習だけが目的ならば、そちらを利用するのはどうだろうか。

(G 委員)

たしかに、試験前など(コミュニティーセンターを)利用しに来る子を見かける。ただ、コミュニティーセンターによっては、利用を断る場合もあるようだ。あちこちにあるので、許可さえあれば利用できる場所は増えると思う。

(F 委員)

図書館だけでなくコミュニティーセンターとも連携が必要だと思われる。

## 6 その他

### ・電子図書購入予定

電子図書の利用は以前と比較して3倍の増加。

予算を約550万として、1143冊購入。

とくにYA・児童・絵本・岩波セットを多く選書している。

### ・県立図書館との連携協力による県立図書館の貸出・返却業務の開始について

10月より開始する新しいサービス。利用者がネットで予約して市町村立図書館の窓口で受け取る。

### ・10月より移動図書館の巡回ルートとステーション場所が変更になります

10月から新ルートになった。現在のところクレームなどはない。

ゆめタウンやイオン八代など人の多い場所に停車することで周知に努める。

(D 委員)

ここに資料はないが、以前のこの会の中で、話にのぼった本の紛失について尋ねたい。その後どうなったか。

(事務局)

新刊の紛失が続いているということで、図書館としてもセルフの貸出機をカウンター前に置く、蔵書印を押すなどの対応をしている。

(G 委員)

前回の話では、(盗難防止)のセンサーが付いたゲートを設置するという話だったが。

(事務局)

ICチップの導入については、すぐには経費的なものがあるので難しいが、今後検討していきたいと思っている。

(会長)

(本を持ち帰っているであろう)個人を特定することは可能なのだろうか？

(事務局)

以前いた図書館では雑誌がなくなり、スタッフと警備の方で特定しお話ししたことはある。

(C委員)

休館もあって人目もあるので減ったという回答を期待していた。減っていないと聞いて驚いている。

(事務局)

新刊の棚をカウンター前に置くという案もあるが、そうすると落ち着いてみる事が出来ない。真面目に利用して下さっている方々に不憫な思いをさせてしまうという気持ちもあり葛藤がある。できることから取り組んでいきたい。

他のご意見なし 終了

7 閉会